

静岡県幼児教育の質向上を目指して

わっ！ぴょん通信



発行・編集

静岡県幼児教育センター

静岡県幼児教育の理解・発展推進事業

都道府県協議会 を開催しました！

静岡県では、毎年「静岡県幼児教育の理解・発展推進事業 都道府県協議会」を静東・静西の2会場で開催しています。

今年度は、8月21日(木)に静岡県総合教育センター(静西会場)、8月22日(金)に三島市民文化会館(静東会場)にて開催し、オンデマンド配信視聴も含め、455人が参加しました。



都道府県協議会って？



園の先生と小学校の先生が、共に学び、語り合う会だよ！

都道府県協議会では、幼保小接続に関する講演や県内での取組実践報告を聴くことができます。

また、分科会では、幼児教育施設の職員と小学校教員が同じグループになり、こどもの姿で語り合ったり、学びのつながりについて話し合ったりすることを通して、幼児教育と小学校教育の相互理解を深めることができます。

来年度も開催予定です。

園及び小学校の先生方の御参加をお待ちしています！

令和7年度の日程

○実践発表

「袋井市幼保小架け橋期のレインボープロジェクト
～一人一人の多様性を配慮しながら、
すべてのこどもたちの円滑な接続を目指して～」

○講演

「幼保小の円滑な接続の在り方
～こどもの発達や学びをみんなでつなごう～」
講師：聖徳大学 教授 河合 優子 氏

○分科会

- ・幼児教育施設間、幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進について
- ・架け橋期のカリキュラムの開発・実施について

○分科会 ○ 演習「架け橋期のカリキュラムの開発・実施について」



今年度の分科会では、秋をテーマに、園での遊びと、小学1年生の生活科の学びのつながりについて、3つの資質・能力を視点に、共通点や相違点を話し合いました。



—参加者の声—

決められた時数の中で到達目標を達成するために、授業を進めていく小学校の大変さが伝わった。

また、園での秋の遊びが、生活科以外に他教科とも関連していることがわかり、幼児教育が、学びの基礎になっていることを改めて感じることができた。

自信をもって保育をしていきたいと思った。

保育教諭



グループ協議では、改めて幼児教育で主体的な活動を重視していること、活動の中でこどもが自分で遊びを選択したり、友達と伝え合ったりすることを大事にしていること、そのために環境構成の工夫等を大事にしていることが伺えた。

小学校でも大事にしていることだが、改めて園との「つながり」を全教員が意識すること、幼児期でどんな資質・能力を育ててきているのかを理解することが接続の一步だと思った。

小学校教諭

